



商 工 会 報

# あ ち

第 64 号

発行 阿智村商工会  
電話0265-43-2241

編集 会報編集委員会  
印刷 龍共印刷(株)



「日頃のご愛顧に感謝し還元すること」このテーマの下に本年もまた十一月十三日に第六回目となる商工祭を盛大に開催することができました。各部会が年々研究し、改良を重

ねていますが、ご来場頂いた皆様にはきつとご満足いただけたと確信しております。特に工業建設業部会のオリジナルコーナーでは、その場で撮ったお子さんたち

の写真をすぐにバッチに加工し、手元に残る記念の品として好評でした。これはまた最新のIT技術とアナログ的な手作業のコラボレーション(合作)ともいべき側面をもっており、ものづくりを得意としました興味を持たせるこの部会らしい企画だったと思います。さらに「自然エネルギーの活用・自然素材を生かす」という環境への配慮をテーマとする展示も行われました。三菱電機(株)さんには太陽光発電システムの紹介で、わずか三センチ四方程度のパネルで動くロボットや照明器具の展示により太陽光から得るエネルギーの大きさを感じました。太陽光発電システムの導入は飯田市では積極的に行われており、阿智村でも今後期待したいと思っております。また、左官屋さんからの提案により、「不思議な泥んこ美玉」という名前で土壁用の泥やシラス(火山灰)をおにぎり状にしたものを、ガラス瓶で磨いてゆくとピカピカの球体になるという展示がされました。ご覧になった方々は元々の形と完成品との差に「こんな風になっちゃうんだ。すごいね」と驚いて頂けました。これは左官

屋さんの技術を端的に示すものでもありますが、実は一〇〇%自然素材からの住宅壁がシックハウス症対策など人類の健康にはとてもよく、こうした自然素材を左官業だけでなく関連する業界でも積極的に取り組んでいるというメッセージも込められていました。このほかにもまだたくさん催し物があり大変盛況に開催できました。

商工祭の目的は会と会員企業のピーアール、事業を行うことで力を合わせ地域経済の発展の原動力となること、自らの地域は自らが住み良くしていく。そのためには必要とされる商工業者を指すことです。商工祭を自画自賛の範疇に留めず、それぞれに得られた体験を生かして欲しいと思います。最後に、商工祭にご協力頂いた村内外の各企業、西部地区各商工会、ポイントカード加盟店会、飯田信金駒場支店、駐車場をお借りした皆様に感謝申し上げます。今後も村民の皆さんの笑顔が集まる商工祭となるよう企画を考え続けていきたいと思えます。

企画部長 大下晃平



企業探訪・新会員紹介

No.56

古川瓦美装

代表者 古川 正幸

創 業 昭和51年 4 月

業務内容 瓦葺 (瓦葺一級技能士)

来年で開業して30年目の節目に当たり「思わぬタイミングで載せてもらえるね」とやや照れ気味。元々は高校卒業と同時に喬木村の日本屋さんへ就職し、葺き職人として諏訪から松本、伊那などを転勤していきました。家族のことを考え転勤生活をやめ、独立しました。

仕事現場も山本から阿智方面に掛けての範囲が主で「お施主さんから連絡があっても、近場だからすぐ駆けつけれて、ありがたいです」と。四年前には長野県葺き技能大会において県知事表彰を受賞され、瓦

屋根診断技士資格も取得されました。現在は次男の雄基さんも4年前から手伝っており、また従業員で5年目の安藤さんも伍和で「近いところで労働力を調達してます」と、若手二人を従えて屋根に上っていました。

「最近朝晩冷え込んできたけど、まだまし。夏は照り返しで65℃以上の中にいると、足が火照って夜は眠れないし、冬は危険も高くなるし、それに肝心の現場を毛布で覆っていても隙間に霜や氷ができていたりする」そうです。「正直キツイけど、外の仕事の方が性分にあっているね」と元気ハツラツに話してくれました。

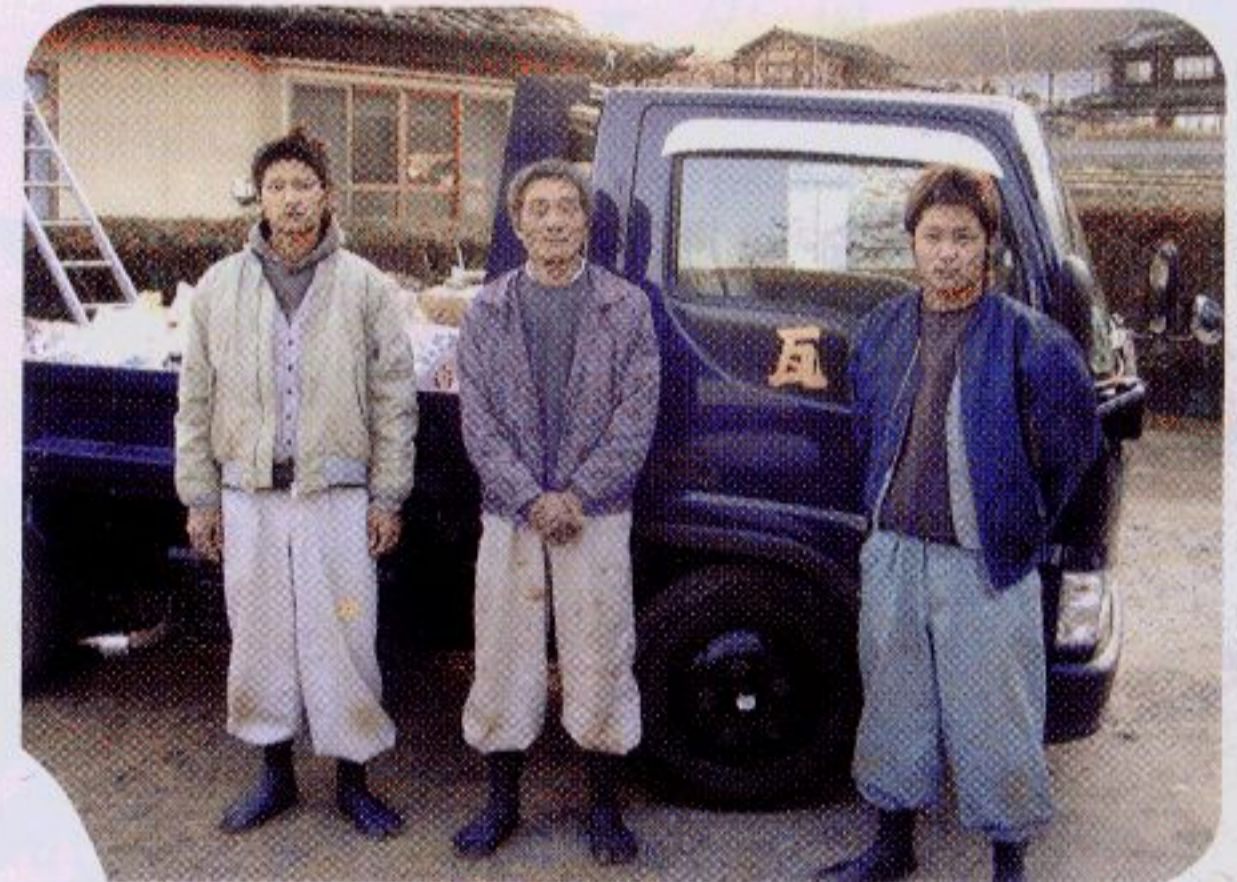
最近雄基さんの影響もあり、趣味のバイクでまた走って楽しんでいるようです。

最後に「最近問題になっているアスベスト屋根材対策のご相談も承っておりますので、お気軽にどうぞ。屋根に関することは何でもお任せ下さい」と、さわやかな笑顔の古川さんでした。

(聞き手 宮下)



仕事の様子



左から雄基さん、正幸さん、安藤さん

支会だより

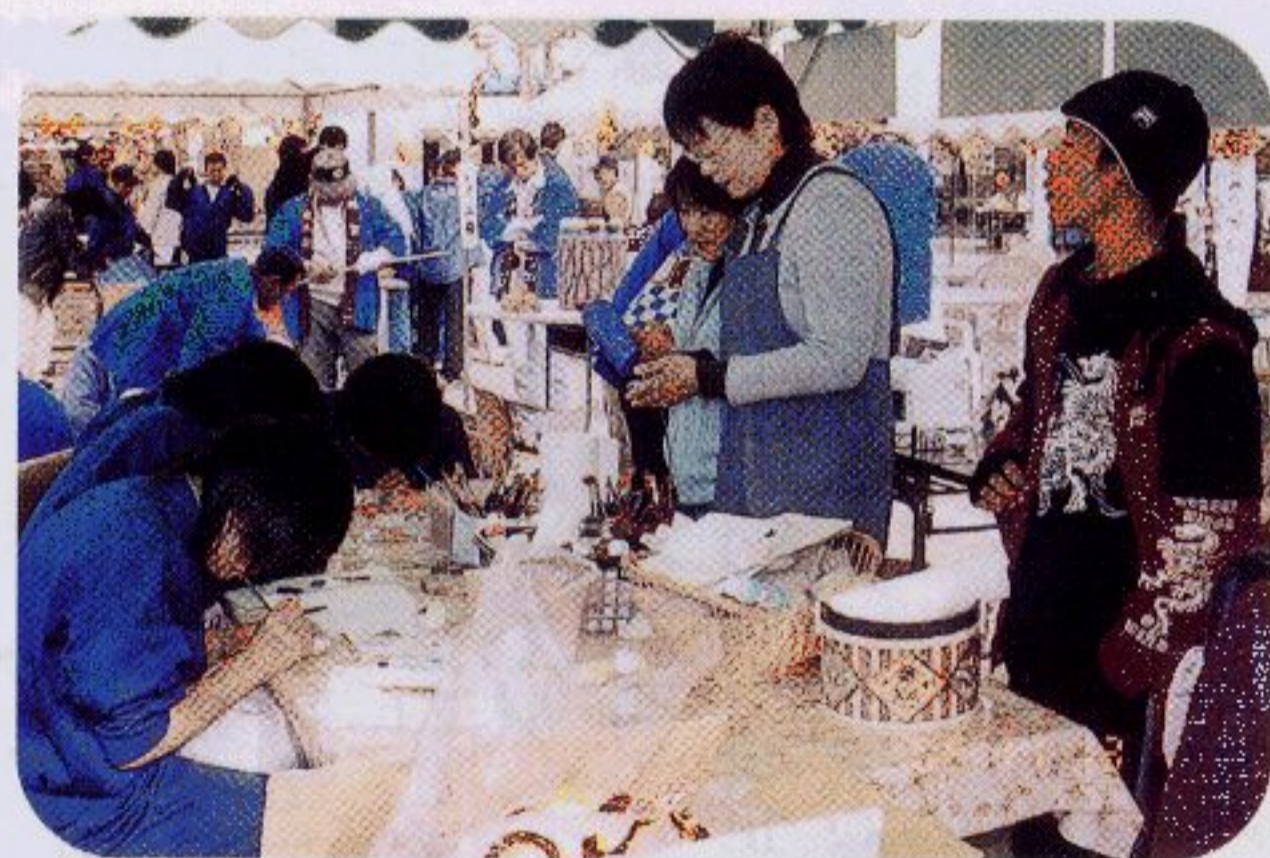
支会活動への協力に感謝

会地副支会長 田中登

会地支会では九月二十五日

に例年行われている阿智公園の整備作業と厚生大会を行いました。作業内容は公園の草刈りを中心に道路整備と道路に出ている木の枝打ち作業を行ないました。

本年度の厚生大会は昨年度までの本会と一緒に参加するのではなく支会のみで、別の日に行ないました。支会の厚生大会は芝勝にてパターゴルフを行ない本年度は信金駒場支店さんも参加してくれて景品も出していただき、参加者全



トルペイントも人気でした

員がなごやかなひとときを過ごす事が出来ました。

また十一月十三日の商工祭に向けて五日には駒場商店街と春日地区に飾り付けを行い、十二日は会場の飾り付けと設営を行ないました。十三日の商工祭は天候にも恵まれ朝から大勢のお客様が来てくれ大変いそがしくお手伝いを頂きました。十九日の日は各地区の飾りの取り外し作業も行いました。支会の活動に皆さん協力いただきたく中で行事が出来ました。大変ありがとうございました。



オリジナルカンパッチは商工祭の思い出



部会だより

# 異業種へ転換をはかる覚悟 〜経営革新セミナーを通じて〜

工業建設業部会 副部長 倉田英行

九月十三日に商工会館で飯田市のデイサービスセンター「たまゆら専務の村松紘一さんを迎え、建設業から介護事業への進出をはかれた会社内部での経緯や苦悩をお聞きしました。当時、村松さんが社長として思い切った決断をされたのは、売上の大幅な減少が続いているにもかかわらず同族会社の金銭感覚の甘さ、公共事業の大幅な削減に

よる業界の将来の行方という大きな流れの中で「絶対になくならない産業」ではあるが「自分の会社が生き残れるか」という課題を考え、何度も経営陣で話し合ったそうです。しかし経営陣の中における意見の相違もあり、役員を分散させることを決めました。役員数を減らすことがそもそも目的であり、また元の会社に干渉されないためにも完全別会

社としてやっていくことが良いと判断されたそうです。結果、曖昧だった役員の役割分担を各自が明確に意識でき、「もし同様に異業種への進出を考えるのなら完全別会社にするべきだ」と助言を頂きました。さらに、「経営陣の意思統一をすることが最も注意すべき点である」とおっしゃっていました。現在たまゆらは順調に運営されデイサービスの利用者、また本年から始めたショートステイの利用者も増加の一途で、売上は昨年比の二・三倍の見通しだそうです。しかし同業他社との競合も激しく、利用者家族のニーズの把握、サービスの質、施設の充実等、常に企業努力を重ねられています。最後に「経営（事業）は、降りのエスカレーターに後ろ向きに乗り、駆け上がっていくようなもので、経営者（陣）は常に努力を怠ってはならない。色々な方向に高いアンテナを立て、商工会の繋がりなどを大いに活用して下さい」と力強い口調で刺激を頂きました。



経営革新セミナーの様子

## レベルの高い技術を体感 ～愛・地球博への研修旅行～

青色申告会会長 折山 登

9月2日に青色申告会研修旅行として愛知万博を視察してきました。想定を超えた、平日にもかかわらず長蛇の列で、私たちが入場する前にさっそく第1回目の入場制限がかかってしまいました。夏休み明けであることと残すところあと3週間というところを狙って計画したのですが、休み明けには今度は小中学校の修学旅行があったのです。開場前からの人だかりを見て皆一斉に「あーあ」、バスの運転手さんも「皆さん夏休み明けを狙ってたんでしょ、これがあるんですよ」と笑っていました。



不思議な六角形で覆れたスペイン館



西ゲートで参加者

会場に入り集合時間を確認し自由行動として、目的別に4つのグループに別れました。冷凍マンモス、日本館、電力館ほか企業館、外国館など見たいもの、イベントは盛り沢山。どこももれなく長蛇の列ではしたが、特に人気のあるところはやはりハイレベルな技術の集積でした。日本館は強大な建物が編みこんだ竹で覆われ、また中では360度見渡せる液晶スクリーン画面で吸い込まれそうでした。電力館では列が自在に変形しながら昇り降りする列車で移動し、とても楽しかったです。外国館ではイタリア館の1400年前のブロンズ像やチョコレート製の車など、先端技術や環境関連技術とは違う、各国の文化面も堪能でき、充実した研修旅行となりました。

この活気にあふれたパワーをそのまま阿智村へ持ち帰り、少しでも我々の商工業に元気をつけたいものだと思います。



全国大会

熱気と連帯意識を感じて

商工会全国大会に参加

副会長 井原 忠 亮

十一月二十五日に開催された第四十五回商工会全国大会に阿智村商工会を代表して片桐副会長、真岸職員とともに三名で参加しました。このほか飯伊では各商工会長をはじめ二十五名が道中を共にしました。

私は今回が初めての参加でしたので大変興味深く、また会場のNHKホールのスケールの大きさにびっくりしました。会場では北海道から沖縄までのそれぞれの会員が、商工会のノボリ旗を先頭にびっしりと並び、何とも言えない熱気と連帯意識を感じました。大会は全国連の清家会長のあ

いさつからはじまり、今大会決議の六項目が満場一致で決まりました。決議後に二階経済産業大臣をはじめ、武部自民党幹事長ほか各政党代表よりあいさつ・紹介があり、直ちに国会への陳情が行われました。私たち小規模企業はまた景気回復の実感がなく大変厳しい状況にある中、特に先の衆院選で圧勝した自民党議員から頂いた祝辞ではその元気のよさが伝わり、我々会員も元気をもらったような雰囲気でした。左記に六項目決議を紹介し、さらなる重要課題の早期解決を願いたいと思います。

大会決議

- 「小規模企業支援体制の再構築」
- 「小規模事業対策に対する継続的な国の関与」
- 「まちづくり推進のための新たな枠組みの構築」
- 「中小企業政策金融の強化・拡充」
- 「企業力向上のための中小企業政策の拡充等」
- 「商工会組織の強化」

一方、翌日は第十九回ニッポン全国むらおこし展が池袋サンシャインシティで行われており見学してきました。長野県コーナーでは当会々員の(有)あちの里さんが出展されており、またその隣では片桐指導員が全国連会長表彰を受賞した豆乳せっけんを出展していました。

会場では多くの商談があるよう係員も対応に大忙しの様子でした。全国各地の特産品が勢揃いし大変な賑わいで、興味深く見せていただきよい勉強になりました。こうした商談が景気回復の糸口になればいいなと思いました。

「豆乳せっけん」

第19回ニッポン全国物産展において全国連会長表彰受賞!

西部地区広域商工会 経営指導員 片桐 義夫

平成17年11月25日東京池袋サンシャインシティにおいて、一次、二次審査を経た「豆乳せっけん」が全国連合会会長表彰を受賞いたしました。県下では19年間で2例目の快挙だそうです。

根羽村商工会では一年間にわたり研究を重ねて商品化しましたが、この商品は村産大豆100%使用の発酵豆乳とオリーブオイル72%ココナッツオイル、パームオイルを混ぜ40日間熟成させた贅沢なせっけんです。また無添加・無着色・無香料ですから安心して使用することができます。なお90g1個売りとなつて根羽杉の木箱入りのギフト用と2種類がございます。肌にやさしいせっけんですから洗顔用にも赤ちゃんにも十分使用していただいております。

平成16年12月に発売し一年が経過してこのような賞を受賞することとなり、特産品開発に取り組んだ汗の結晶と思っております。今後皆様にご愛用いただければ大変幸いです。



清家会長より授与される

新会社法に学ぶ

経営指導員 竹村 正之

ご承知のとおり新会社法が来年五月から施行されます。時代的な要請が主な改正理由で、内容は会社の実態に合った組織とする事、会計参与の導入、組織再編の迅速化、創業の円滑化などです。

小規模な株式会社と有限会社、小規模な有限会社と個人事業者は、それぞれ名目的な小差が実態でした。そこで企業の規模や性格に合わせ、多様な組織作りを可能にする事になりました。改正では、有限会社制度の廃止も盛り込まれていますが、現在の有限会社は存続が認められます。

いずれにしても、経済環境の進展に合わせた改正で、九月に開催したセミナーの講師は、小規模な有限会社と個人に関する事例を、実務的に解説していただきました。これからは資本金基準でなく、企業体質(実力)で評価される時代です。

本物の企業支援、本物のまちづくり、地域づくりへの現実的な貢献が商工会職員の使命だと考えます。お世話になつて三年程になりますが、支援の難しさを痛感します。

指導カルテNo.21



シリーズ

我が家の秘蔵写真

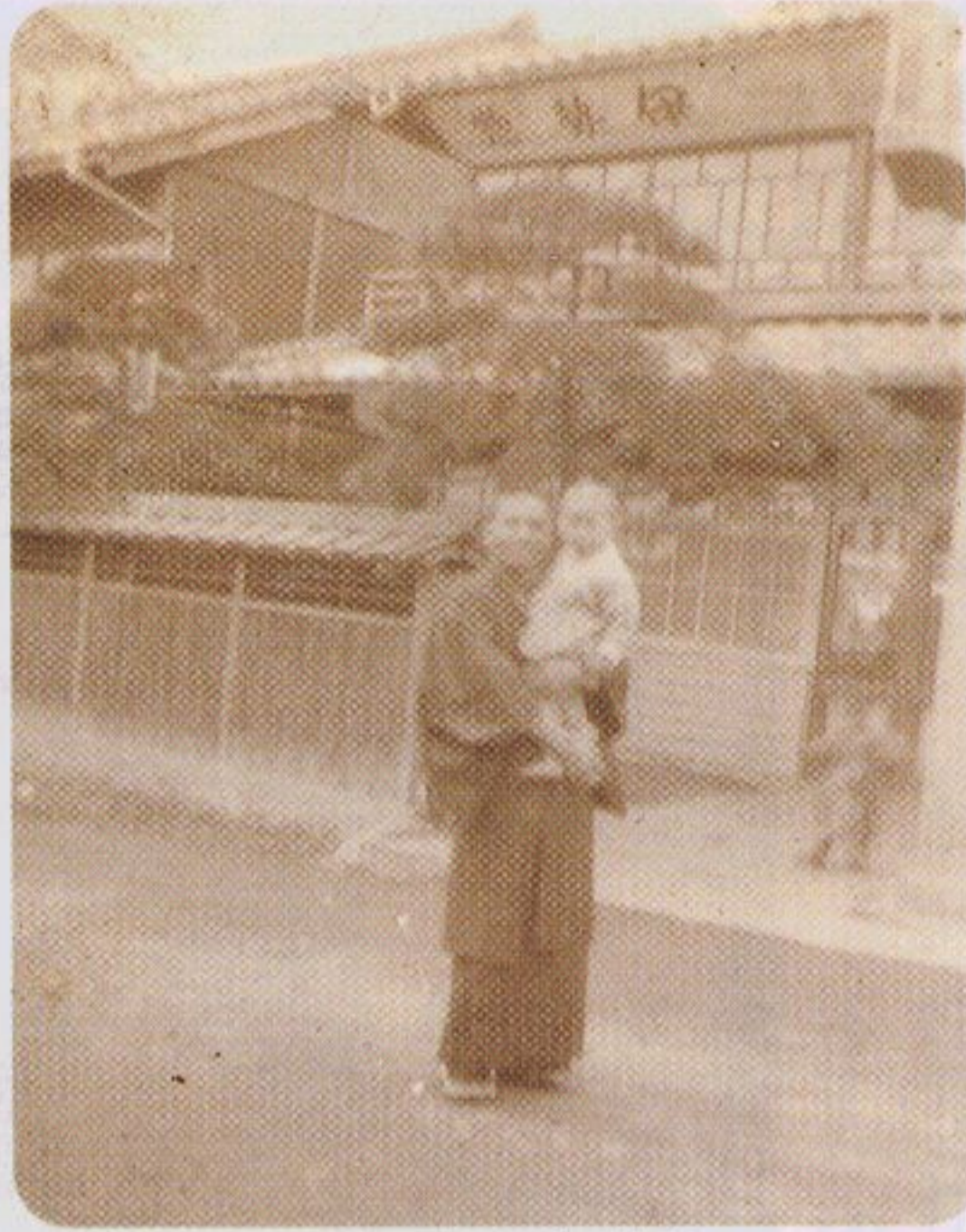
サワキ理容室

佐々木猶久さん 所蔵

第40回



昭和5年 沢喜呉服店の様子



昭和5年 伊勢惣

猶久さんの父喜作さんは飯田の沢村屋呉服店で修行された後、伊勢惣さんの向かいで「沢喜呉服店」を開業されました。沢村屋さんの「沢」と喜作さんの「喜」から屋号を決めたそうです。写真は昭和五年頃の沢喜呉服店さんと伊勢惣さんです。

んは会地商工青年団チームの部長を務められ、優勝したときの写真です。いずれも中央のめがねを掛けた方が喜作さんです。また、大津屋の虎岩敬二さんが写っています。皆さんの襟にはそれぞれの店舗名が入っています。虎岩さんは「こんな貴重なものを見せてもらって、懐かしい。あり

がたい」と、当時の駒場商店街のにぎわいを懐かしそうに教えてくれました。また、喜作さんは琵琶を楽しい趣味もあり「泉会」というグループで活躍され、兄弟弟子の写真も丁寧に保存されていました。

なお、猶久さんご夫妻も趣味が多様で、社交ダンスやゴルフなどを楽しまれています。特にゴルフは、猶久さんが昨年平谷CCで、また奥様の美鈴さんが飯田CCにて共にホールインワンを達成するほどの腕前です。

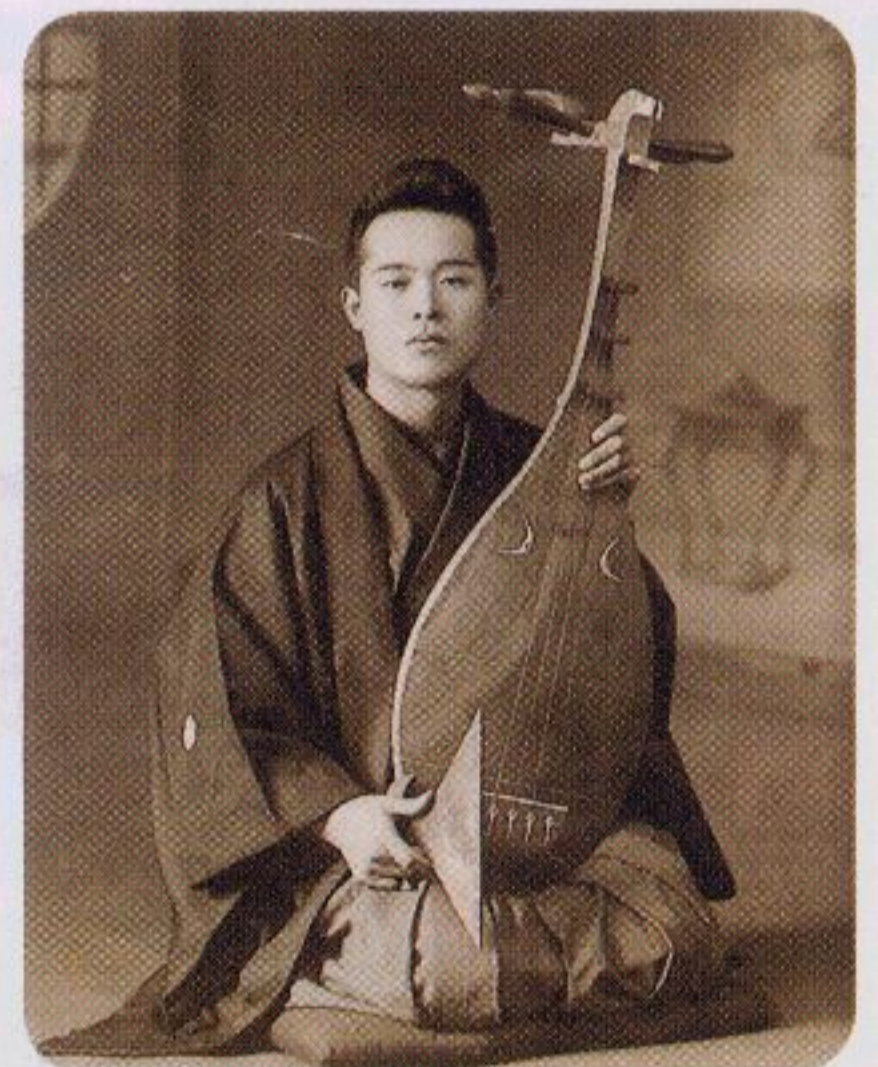
(聞き手 宮下)



昭和8年 会地商工青年団チーム 後列中央のメガネをかけているのが喜作さん、後列左から2番目が虎岩敬二さん



昭和8年 会地商工青年団チーム 二列目中央のメガネをかけているのが喜作さん、最後列右から5番目が虎岩敬二さん



琵琶を引く若い頃の喜作さん





# 高志を射ぬ (戌) ぎ、 わんランク上の自分を!

## 商工会員年男年女ご紹介

来年の干支は「戌(いぬ)」です。戌年の人の運勢や性格を調べてみると諸説ありますが、共通しているのは①正直・誠実②義理人情に厚い③適職は芸術家④頑固・独りよがりという点でした。今年もまた非情な事件が相次ぎ、世相を憂います。誠実・人情に厚いなど戌年の特長を皆が持ち、高い志を射ぬき、わんランク上へ自分を高めていきたいものです。

順不同・敬称略  
鈴木省内、鈴木たき子(鈴木建築)、白沢穂浪(白沢商店)、石原庄一(有ナカジマ)、林浩治(有林産業)、藤倉邦子(有藤倉電工)、原きみ子(エソゼル美容院)、武川昌司(茶々)、井原春江(井原良徳建築)、園原喜市(園原建築)、原博晟、原幸子(原電化設備)、井原良人、井原克巳(井原良人建築)、竹村正之(阿智村商工会)、大嶋みえ子(大島豊店)、井原ちさえ(やすんど工房)、石原弥生(根羽村商工会)、田中誠一(有春日自動車)

### 至福の新年 竹村正之

五回目の年男を迎えた。長野県人らしいとか長野県人らしくないとか言われる。忠誠心がかなり強く、誘惑に負けず勤勉で、休む時は心底休むなど忠犬らしさがある。

私の父は九十歳で新聞を隈なく読み、日記と晩酌を欠かさず、気の向くままに車を運転して出掛け実に健康だ。

私も健康管理に心掛け、いずれ難曲の月海を尺八で吹き

たい。それに釣りや学生時代のシュノーケルダイブも今一度と夢見ている。

例年正月は陽だまりの縁側で春の海を吹き迎える。六寸管の音色は実に良いもので、お屠蘇気分の私だけの至福の世界だ。だから正月は格別に楽しみで、二月程前から稽古を始める。

誰にとっても平和な正月であって欲しい。

## 楽しくできたマレット大会

優勝者 片桐秀信

『私、まだ優勝したことがなかったんです』

商工会員親睦のマレット大会は、もう何回もやっているが、どうしたことか、「恰好」は付けているが入賞したことがない。

今回の大会は、わいwai公園で、十月十六日(日)に一時半スタートで行われた。参加者は三十数名。毎回天候を気にしながらの開催だが、会員の行いの良いせい、雨になったことがない。(数日前の集中豪雨で中止になったことはある)。

マレットゴルフは、手軽にできることもあって、昨今どの団体も行っているようだ。老若男女誰でも参加

できるのが魅力のひとつ。今回の参加者は、昨年並だったがもつと多勢の参加者があるといいな、と総務部の一員として思うところです。

成績発表、懇親会はドームの下で、焼肉をしながら行われた。

今回参加賞には、築地直入のさんまが配られた。入賞者飛賞、当日賞にはふるまる君商品券、それに新米も出た。

ゲームは十八ホール、パー七十二で競われ、男子の部一位、二位、三位、女子の部一位、二位、三位、まで。入賞者は男子一位、片桐。女子一位は、同点ジャンケンの末、宮嶋益美さん。



総合優勝の片桐秀信さん



レディース優勝の宮嶋益美さん



女性部

楽しかった  
視察研修旅行

常任委員 下原照子

女性部としては、一番お楽しみ  
の事業がこの研修旅行です。参加者は二十名弱でしたが車中は終始笑い絶えず話しをすれば一つずつ得られる事が沢山あり、こんな気楽な旅に一人でも多くの部員が参加しない事はないと感じました。目的地は霊峰富士山方面で、まず登美の丘ワイナリーのワイン工場を見学し近代的な工場に目を見はり、でもそれ以上におどろいた事は山の横穴を利用し自然の力のすばらしい貯蔵庫でした。河口湖猿まわし劇場では猿のかわいらしいショーに感動し忍野八海では富士より悠久の時を経て蘇る湧水の透明さはただただおどろきました。楽しい旅に感謝し筆をおきます。



ワイナリーにて参加者

信金だより

飯田信用金庫駒場支店営業係 さか まき よし ひろ  
坂 巻 剛 弘

皆様こんにちは。信金駒場支店の坂巻剛弘と申します。営業係として主に駒場地区を担当しています。

簡単に自己紹介をしたいと思います。駒場支店には昨年六月に赴任し、1年半経ち慣れてきた所であります。自宅は阿智村の隣の飯田市三穂、地元では消防団でも活躍？しています。家族は私を含め8人おり、駒場支店に来てから産まれた子供は歩くようになりました。年は29歳です。様々な場面で皆様とお話する機会がありますが、気軽に声をかけて下さい。



今年飯田信用金庫は創立80周年を迎えました。お客様への感謝の気持ちを含め、期間限定商品スーパー定期『夢80』を販売しております。低金利の現在ですが、今回は特別金利0.5%で1月31日まで販売しております。この機会に是非、飯田信金駒場支店の窓口もしくは営業係(特に坂巻)まで、お預け入れをお願いします！

税務だより

消費税への対応を

飯田税務署 個人課税第一部門 吉川 正

消費税法の改正によって、平成十五年分の課税売上高が一千万円を超える事業者の方は平成十七年分から消費税及び地方消費税の申告と納税が必要となります。平成十五年分の課税売上高が五千万円以下の方は「簡易課税制度」を選択できます。簡易課税制度を選択されない場合、一般課税での申告となります。この場合、帳簿と請求書等の両方の保存がないと、仕入等の支払いの際の消費税を控除することができませんのでご注意ください。

また、個人事業者の方の消費税及び地方消費税は「振替納税制度」が利用できます。金融機関の預貯金口座から振替によって納税することができ、大変便利です。振替納税のご利用をお勧めします。

長野県内の最低賃金 長野労働局

職場を支えるあの人の最低賃金はいくら?

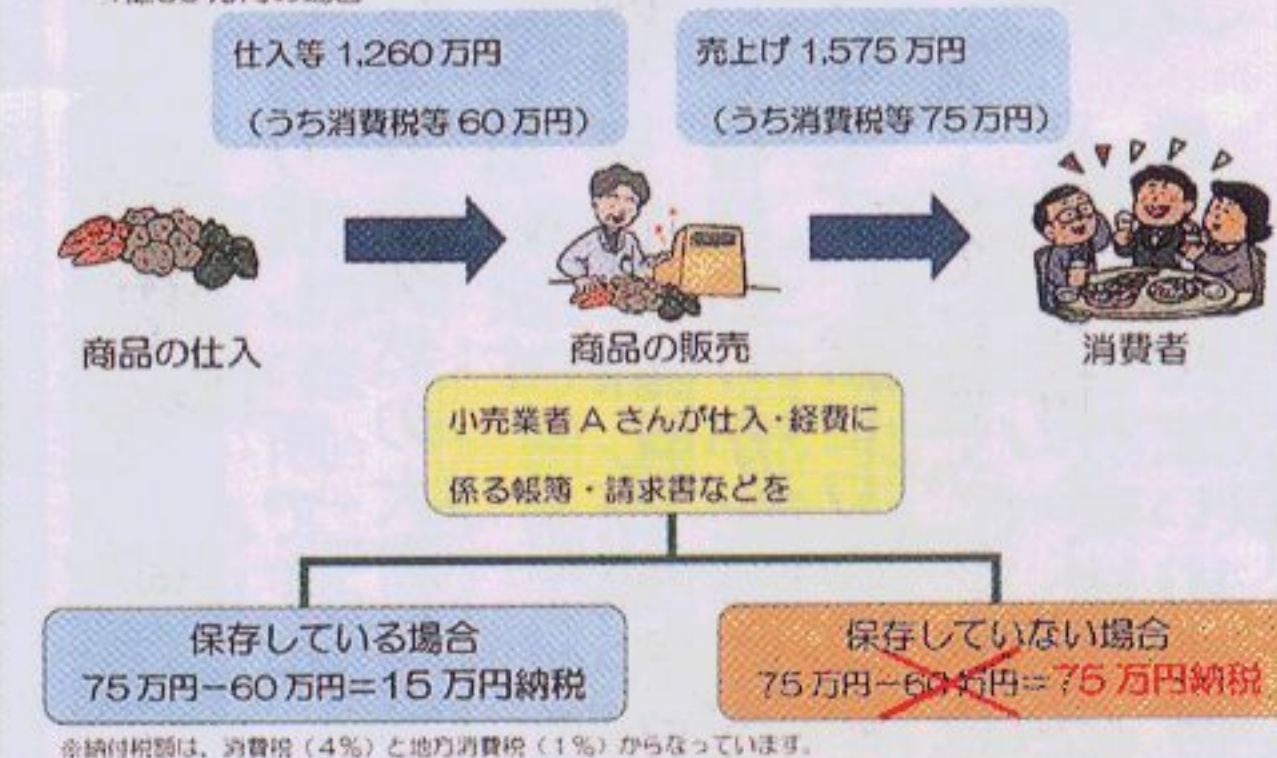
地域別最低賃金	時間額	効力発生日	
長野県最低賃金	650円	平成17年10月1日	改正
産業別最低賃金	時間額	効力発生日	
電気機械器具、情報通信機械器具、電子部品・デバイス、精密機械器具製造業	752円	平成17年11月27日	改正
一般機械器具、自動車・同付属品、船舶製造・修理業、船用機関製造業	763円	平成17年11月27日	改正
各種商品小売業 (百貨店等、衣・食・住にわたる商品を販売する事業所)	726円	平成17年12月31日	改正
印刷・製版業	734円	平成17年12月31日	改正

※精皆勤手当、通勤手当、家族手当は最低賃金の対象とはなりません。

お問い合わせは、飯田労働基準監督署(電話22-2635)、又は長野県労働局 労働基準部 賃金室(電話026-223-0555 内線2324)へ

一般課税(簡易課税制度を選択しない)で消費税の申告をする場合

(例) 小売業者Aさんの1年間の売上金額が1,575万円で、仕入や経費の金額が1,260万円の場合



一般課税により申告される方は、帳簿と請求書等の両方の保存がないと、仕入や経費の支払の際の消費税分を差し引くことができません。

消費税の申告には、売上金額が分かれば消費税額等を計算できる簡易課税制度という方法もあります。



部会だより

# カーマ出店問題の経過

商業サービス業部会長 熊谷智徳

ホームセンターが以前駒場に出店する話が有りましたが、出店しない事になりました。この件について経過等をご報告いたします。

### (1) 出店計画の概要

- ・ 計画予定地  
市の沢の一五三号線バイパス沿の田(約三、〇〇〇平米)。出入口は長塚橋寄り
- ・ 出店計画者  
(株)カーマ(本社・愛知県刈谷市)、資本金六十億一一七万円
- ・ 業種等  
ホームセンター(カーマアットホームタイプで、売り場面積約一、〇〇〇平米)
- ・ 開店予定日  
平成十八年の春

### (2) 商工会の対応

- ・ 七月～八月  
具体的な出店計画の情報を入手し、関係者と連携して情報確認などを進める。
- ・ 八月三十日(火)  
商工会長、商業担当正副部会長などが、カーマ瑞浪店・陶店を視察し情報収集。

- ・ 九月六日(火)  
商業・サービス業部会を開催し対応策などを協議
- ・ 九月八日(木)  
理事会を開催し、緊急説明会の開催と対応策などを協議。
- ・ 九月九日(金)  
(株)カーマに出店計画の確認と、出店自粛をお願いする。
- ・ 九月十九日(月)  
全商工会員対象に説明会を開催し、情報提供と今後の対応策などを検討。
- ・ 九月二十九日(木)  
緊急理事会を開催し、出店反対と消費者に愛される店づくりに取組む事を確認した。
- ・ 九月三十日(金)  
(株)カーマ(出店開発課)から、阿智に出店しない旨連絡を受ける。

### (3) 今後の対応について

今回の出来事を教訓と受け止め、小売業者自ら今後のあり方を研究し、魅力ある店づくりに取り組む事になりました。地元事業者のご支援を宜しくお願い申し上げます。

## 事務局からのお知らせ



### ○「長野ものづくりネット」運用開始しました。

仮想工業団地「長野ものづくりネット」(<http://www.vip-nagano.jp>)が、この12月よりサイトの運用を開始致しました。これは、インターネット上に各企業の情報を集積した団地を構築して、登録事業所の取引促進・受発注・技術提携・共同受注・共同開発等を支援し、飯田・下伊那地域の経済自立化に貢献することを目的としたBtoBサイトです。随時参加企業を受付けておりますので、お気軽にお問い合わせ下さい。担当 宮下

### ○「ポータルサミット2006」にご参加下さい。

この度「長野ものづくりネット」の竣工記念式典として、「ポータルサミット2006」を下記より開催します。インターネットを活用した経営革新についての講演会や、インターネット取引の法的なトラブル防止についての講演会、新潟と山梨の成功している3つの仮想工業団地の関係者によるパネルディスカッションおよび名刺交換会などを予定しております。

- 1、日時 平成18年1月20日(金)午後1時から6時(無料)
- 2、場所 飯田市上郷「地場産業振興センター1階大ホール」
- 3、内容 テーマ1「インターネットを活用した経営革新について」  
テーマ2「仮想工業団地を活用した経営革新について」  
講師 中小企業診断士 加藤忠宏、弁護士 川島一慶

### ○臨時総会・新年祝賀会に御出席下さい。

浪合村商工会との合併に伴い関連する議案について臨時総会を開催しますのでご出席願います。なお、引き続き新年祝賀会を開催しますので、ご夫婦や社員の皆様とご参加下さい。

- 1、日時 平成18年1月16日(月)  
午後3時から3時40分 臨時総会「合併および合併契約書承認の件」ほか  
午後3時40分 新年祝賀会
- 2、場所 昼神「湯元ホテル阿智川」

## 編集後記

年の瀬になり慌しい所ですが、今年は早々から強烈な寒波や突然の大雪に見舞われて皆様も大変だと思えます。

第六十四号発行に際し原稿や写真、取材にご協力頂いた皆様ありがとうございました。来年は戌年です。常にワンランク上を目指すが、心身ともに豊かにしてゆくことだと思います。来年の会報もより充実したものになるよう、取組んでまいります。

編集委員長 藤倉陽太郎